

# はたちのつどい 未来への第一歩を祝して



「はたちのつどい」が1月11日(日)、文化福祉センターで開催されました。式典では、小中学校時代の懐かしい写真や、当時の先生方からのビデオメッセージなどが上映され、会場には笑顔と感動のあふれる時間が流れていました。



## 周りへの感謝を 忘れずに

「部活動に励んでいたころは、忙しい母のほかと同じ部活の友達の家にも送迎してもらいました。また、友達の家に泊まりに行くことも多く、家族のように思っています。それから、温かい人が多く、人との距離感が近いこと

——20歳を迎えて？  
「高校生のときに半年間マレーシアへ留学した経験から、自信をもって行動できるようになりました」  
—— 倶知安はどんなところ？



長谷川 凜さん

小学校から高校まで倶知安で生活し、現在は夢を実現するため、短期大学に通う。

が倶知安の良いところだと思います」  
—— 将来の夢は？  
「命を守る仕事に就きたいですが、理学療法士の父から海外で働く話を聞き、もともと旅行が好きなのもあり、現在は、両方のやりがいを感じられるキャビンアテンダントを目指しています」  
—— どんな大人になりたい？  
「家族や小学生のころからずっと支えてくれた友達への感謝の気持ちを忘れず、もっといろいろな経験を積んで、豊かな人生を送れるような大人になりたいです」



今年度の「はたちのつどい」には、90名を超える方が出席し、新たな一歩を踏み出しました。式典では、20歳を代表して、「はたちの誓い」を天海夏月さん、「お礼の言葉」を川村和苑さんが述べました。



## はたちの誓い 育った町への感謝を忘れずに

私たちは20歳という大きな節目を迎えることができました。

幼い頃から、羊蹄山を背景にさまざまな自然と町で出会う人の温かさに触れ、のびのびと成長することができました。

今私は地元を離れ大学に通っていますが、「故郷」という言葉を聞くだけで懐かしい記憶や経験がよみがえり、それらはこれからの人生においても大きな基盤となる

宝物です。

俱知安で育った誇りを胸に、これまで支えてくれた家族、友人、地域の方々への感謝を忘れずに一歩ずつまい進みます。

それぞれの夢や目標を実現するために精一杯努力し、私たち自身だけではなく、周りの人々にとっても豊かなものとなるよう挑戦し続けることをここに誓います。

(一部抜粋)



天海 夏月さん

## お礼の言葉

多くの支えと迎えた節目

場面に直面すると思います。不安を感じることもありますが、これまでに得た経験を糧とし、自分で選んだ道に責任を持ちながら、一歩ずつ前に進んでいく考えです。

最後になりますが、このような式典を開催して下さったすべての関係者の皆様に、深く感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

(一部抜粋)



川村 和苑さん

私たちは本日、成人としての大きな節目を迎えました。しかし、ここに至るまでの道のりは、決して一人で歩んできたものではありません。悩みや迷いを抱えながらも、多くの方々を支えられ、今日という日を迎えています。

これから社会に出ていく中で、私たちは多くの選択や責任を伴う

## 謙虚な姿勢を大切に

「両親には、高校進学の際に自分の気持ちを尊重してくれたことに感謝しています。また、両親が忙しいときに自分を支えてくれた祖父母にも感謝しています。就職したら両親には旅行を、祖父母には冷蔵庫をプレゼントしたいです」

「20歳を迎えて? 「大学やアルバイト先で、先輩になる立場が多くなり、今までよりも自分の発言や行動に責任を持つことを意識しています」  
— 家族に感謝していることは? —  
「両親には、高校進学の際に自分の気持ちを尊重してくれたことに感謝しています。また、両親が忙しいときに自分を支えてくれた祖父母にも感謝しています。就職したら両親には旅行を、祖父母には冷蔵庫をプレゼントしたいです」

「自分が尊敬する人のように、何歳になっても謙虚な姿勢のまま、関わってくれる人に対して感謝の気持ちを忘れない大人になりたいです」  
— これからの自分について? —  
「将来、俱知安に帰ってきたいと考えていて、今、英語の学習に力を入れています。自分が今まで育ってきた町と、育ててくれた環境に恩返しができるようなことがしたいです」



戸田 和貴さん

俱知安町で生まれ育ち、現在は、大学へ進学し英語の学習に力を入れている。